

京都府高等学校体育連盟主催事業における 新型コロナウイルス感染予防対策【専門部ルール】

専門部名： ウエイトリフティング 専門部

策定日： 令和 4 年 4 月 1 日

1、大会開催の専門部独自条件について

- ・（公社）日本ウエイトリフティング協会の感染拡大防止ガイドラインに沿って実施する。
- ・ 新型コロナ感染症拡大のため、大会（上位大会に繋がる大会や予選会）が開催できない場合は、直近の試合の記録等を参考にする。もしくは、地域もしくは学校毎に試合や記録会を開催する。（日本ウエイトリフティング協会及び全国高体連ウエイトリフティング専門部からの指示による。）

2、大会参加条件について

- ・ 大会参加者に大会2週間前からの健康観察を義務づけ、その間体調に異常があった場合参加は認めない。なお、2週間の健康観察はチェックシートにて行う。

参加校は、感染者判明時の追跡に必要なため、自校の参加者（生徒・教職員等）について、次の内容が把握できる書類を各校で保管する。

- ・ ア. 参加者の連絡先が把握できるもの。
イ. 参加者の体温や体調の状況が把握できるもの。
ウ. 参加者の行動歴（移動経路や利用交通手段等）が把握できるもの。

3、大会当日の検温における発熱者確認時の対応

- ・ 大会会場において、発熱者が出た場合、速やかに関係者（機関）に連絡し、帰宅（受診）を促す。
- ・ 発熱者が、新型コロナウイルスに感染している可能性がある場合は、所属するチームの参加者のうち、濃厚接触者は大会に参加できない。
- ・ 「新型コロナウイルスに感染している可能性」については、発熱者の家族等に聞き取りを行い、発熱者の周囲に過去2週間以内に感染者がいないか念入りに確認をとり、チームの責任者と感染予防対策担当者が判断する。

4、大会申込後に出場を辞退する学校（チーム）がでた場合の対応

- ・ 大会運営に支障がない限りは、予定通り実施する。

5、学校（チーム）応援者・観客について

- ・ グループ毎に入場者を入れ替る。
- ・ 保護者・観客の入場については、会場の収容人数と感染状況を考慮し判断する。

6、専門部独自の感染症対策について

- ・ 開・閉会式は実施しない。表彰式の簡略化。
- ・ 検量時は、選手だけで入室。（監督等の付添なし。サインは事前に）マスク着用。
- ・ 1試技毎にシャフトを消毒する。シャフト交換回数の指定なし（特別ルール）。
- ・ 個人での滑り止め(炭酸マグネシウム)の使用許可。
- ・ セコンドの人数を制限する。
- ・ 学校毎に使用する面を指定する。もしくは、使用した人を明確にする。（使用名簿等）
- ・ ウォーミングアップ場のシャフトと使用プレートの消毒をグループ毎に行う。